

# 図書館 だより

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866  
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672  
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580  
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111  
 内線 303

## 閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日  
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日  
 七城公民館図書室 日曜日・祝日  
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

## 司書のつぶやき

暖かくなってきました。散歩のついでに図書室(館)に寄ってみませんか。 ほたる



## 新着・お薦め図書

**泗水図書館**  
 怒り 吉田修一 著  
 山桜記 葉室 麟 著  
 ひとりの体で ジョン・アーヴィング 著  
 坂口恭平躁鬱日記 坂口恭平 著  
 わたしはマララ マララ・ユスフザイ 著  
 下町ボブスレー 細貝淳一 著  
 田んぼの不思議 安室 知 著  
 だるまちゃんとりんごちゃん かこさとし 著

**中央公民館**  
 みんなのレクリエーションゲーム集 日本レクリエーション協会 監修  
 脳とところがホットする健康学 高田明和 著  
 コウケンテツの食パン食 コウケンテツ 著  
 ふたつめの庭 大崎 梢 著  
 ようこそ感動指定席へ! 志賀内泰弘 著  
 ハラハッターとチョコリーナ のぶみ 作  
 りんごかもしれない ヨシタケシンスケ 作

**七城公民館図書室**  
 ミッドナイト・バス 伊吹有喜 著  
 蘇活力 南 和友 著  
 ハーブのティーパーティー あんびるやすこ 作  
 てつぞうはね ミロコマチコ 著

**旭志公民館図書室**  
 心の力 姜尚中 著  
 美幸 鈴木おさむ 著  
 ぼくだってウルトラマン よしながこうたく 作  
 ぐるぐるちゃんとふわふわちゃん 長江 青 文・絵

## 「阪急電車」

有川 浩 著



塚本桜妃さん  
旭志中学校2年

阪急電車は、梅田へ向かう宝塚線と神戸線へ連結する今津線とが人の形に合流しています。この本の特徴は「電車の中での人のストーリー」です。私が気に入ったのは、宝塚駅～宝塚南口駅に行く電車の中でのお話です。主人公は二人です。恋の始まるタイミングを見たような気がしました。

宝塚図書館で新作の本を借りようと思った男性が本を取ろうとした時、横から女性が横取りして借りていきました。同じ電車に乗っていて、気になって見ていてつい声に出してしまいました。そこから話が盛り上がり、最終的には二人の恋がはじまろうとします。この本は映画にもなりました。ぜひ一度読んでみてください。

## 万句の里俳句会 2月例会

里山を輝やかせる春の雪 梅田 昭子  
 春寒し便りの筆を少し置く 丸山美代子  
 鴨去りし後の静けさありにけり 岩木 敬治  
 せせらぎの音は隠せず春霞 隈部 輝子  
 雨雫黄梅色に滴りぬ 田島 房子

## せせらぎ俳句会 2月例会

卒研を終えれば春と言ひ聞かせ 渡辺 大寿  
 早春のポーズとる子のおちよぼ口 五丁 義昭  
 冬季五輪我も飛んでる夢の中 寺本 和子  
 この寒さ風情と捉へ梅見かな 藤本アツ子  
 蠟梅の透き通りをりかぐはしき 服部 静子

## 旭志文芸教室俳句の会 2月詠草

焚火して観音堂の御縁日 水谷 ミネ  
 霜の朝靴ひもきりりウォーキング 芹川のり子  
 初春や仔馬嘶く朝かな 中尾ヨシコ

紅ほのか小さき倅せ初鏡 芹川 蓉子

## 肥後狂句水笑会 2月例会

咳払い 今日のお客は粗茶でええ 藤野 清子  
 まあまあ 見合いする気にした写真 光堀 善教  
 おもむろに 袱紗さばきのお初釜 上村 ○子  
 わかりやすい マンガに書いて教え さす 小川 繁美  
 おもむろに お世辞並べてさす無心 狩野 本六

## 肥後狂句水笑会 2月例会

頼られて 恋しようかて思うとる 宮上 美由  
 預金帳 嬢がにぎって見せはせん 柏原 乗仏  
 預金帳 隠した場所ばうちわすれ 中島 五女  
 頼られて 手腹切っても助けられず 平井 江彩  
 国立卒業 頭が高く付き合えん 御手洗三代

## 七城短歌会 2月詠草

蘭の花今日届きたる夫の忌日遺影を前に話はつづく 緒方 寛子

ふと目覚め見渡す窓は白じらと十五夜の光夜明けとまごう 嶋田 晴美

## 里の短歌会 2月詠草

雪暮れのつららの滴数えてはゆるり 発射のバスに旅行く 宮本 淑子  
 一時帰宅震へる手にて屠蘇を飲む夫の顔にも笑みのこぼるる 林 淑子  
 朝の陽の溢れる中を聞こえる子らの元気な「卒園の歌」 緒方 悦子  
 窓越しにじつと見ている積もる雪咳に籠もれる二歳の孫は 岩本サヨ子  
 子どもらは日向の里の誇り抱き牧水を唄う声ひびかせて 桑野 睦子

## 菊池短歌会 3月詠草

折りてきし紅一輪の寒椿机上忽ちふるさととなる 余語やす子  
 パール柑・金柑・檳梅・仕合せの黄色

## 耳より情報

▼マフィン作りの前に絵本を読む参加者の皆さん



## おいしく楽しく☆絵本の世界を体験♪ 「はらぺこあおむし」のマフィン作り

七城公民館図書室で2月23日、絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせと、絵本に登場するマフィンを作りました。子どもから大人までたくさんの参加者が絵本とマフィン作りを楽しみ、お話の世界が一気に広がりました。

これからも定期的にお話を聞いていきますので、どうぞお楽しみに♪



畑より抱えて戻る 安藤 則子  
 着膨れて厨占めみしひと冬も吾れに 岩木 妙子  
 事なく過ぎて三月 岩永 典子  
 二時間余待ちし診察淡々と結果加齢と医者は告げたり 梅田 昭子  
 霜除けを外せば赫き油照りはや芍薬の芽立ちひしめく

# 文芸 きくち